



魅力ある「大原野」を

発信します

大原野自治連合会長 小原 喜信

梅雨が明けるといよいよ本格的な夏の到来です。皆様方には日々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は大原野自治連合会の事業活動にご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年の5月に、「新型コロナウイルス」の感染法上の位置付けが大きく見直されました。今までの2類相当から5類へと移されています。行政が様々な要請や関与をする仕組みから、個人の選択を尊重し、自主的な取り組みを基本とする考え方に切り替わっています。そこで、この情勢を踏まえて、大原野自治連合会では、出来るだけコロナ前の状態に即して事業活動を進めて参りたいと思っております。大原野区民体育祭やフェスタ大原野といったイベントは、すでに開催の準備に入りました。ただし、4年ぶりの開催となりますので皆様のご理解とご協力が無ければなかなか前へと進めません。開催に向けて、皆様にはより一層のご支援をお願い申し上げます。

えましました。大原野小学校は、今年で創立150周年という記念の年を迎えます。各々の小学校が今後さらに、40年を以て160年へと駒を進め歴史を刻んでいくことは大変うれしいことです。ただ、児童の数が減少し、今年の新生一年生は、上里小学校が33人、大原野小学校が21人と、両校とも学年で1クラスの状況です。この現状を変えていくには、住環境を整備し、子育て世帯に「大原野」を選んでもらえるようにしなければなりません。新規就農者の受け入れを積極的にすることも必要です。自然豊かな私たちの住む大原野の魅力を外に強く発信することも大事です。子育て世帯を呼び込み、「大原野」に新たに住んでもらう努力がより望まれます。

昨年度の4月に、都市計画法第34条第11号に基づく条例が制定されました。これは各町自治会からの「区域指定」の申請によって、市街地調整区域であつても一定の条件のもとで、誰もが戸建て住宅の新築等ができるようになるというものです。これには先頭を切つて、石見町が条例の「区域指

定」を受けました。順次、各町からの指定申請が為されていますので、現状を確認していただければと思います。なんやかんや大原野農家版チームは、毎年きれいな「ひまわり」の花を咲かせていますが、今年は栽培する畑が南春日町の光華グラウンドの北側に移ります。

昨年度の社協の活動を紹介します

大原野社会福祉協議会長 安井 敏

毎日暑い日が続いています。大原野地域の皆様はいかがお過ごしでしょうか。昨年度の大原野社会福祉協議会の活動について紹介させていただきます。5月には理事会や評議員会、協力委員会などの重要な会議が3年ぶりに実施されました。ふとんクリーニングは6月に大原野地域、9月に右京の里地域で実施しました。合計で86名の利用をいただきました。ふとんクリーニングは民生委員の皆様や老

消防団だより

大原野消防分団 副分団長 岡本有司

大原野地域の皆様には日頃より温かいご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。大原野消防分団は「自分たちが日々暮らしている大原野地域を自分達の手で守っていかう」と日々活動しております。

私たちが消防団員はご存知の通り普段は自らの仕事をし、行いその傍ら毎月5日・20日の無火災推進警備をはじめ、休日には訓練等を行います。365日、24時間災害活動に備え「自分たちの町は自分たちで守る」とも団員一丸となっております。

昨今、石川県では震度6強の地震が発生し様々な混雑が起きています。会場は大原野の杜、駐車場は大原野中学校をお借りしました。京都桂病院の精神科の岸信之先生に来ていただいた「認知症の気づきと対応について」というテーマで講演をいただきました。参加者は43名でした。講演会も大原野の杜や大原野中学校に協力いただいたので無事に実施できました。何かの事業を実施する時には色々な団体や個人の協力があったり、ご協力ありがとうございます。ふれあい事業のなぬか会の活動も予定通り年に7回実施でき、10月には日帰り

心鏡邑和

●若竹煮、筍ごはん、木の芽和え。今年も大原野の筍を堪能させていただきました。若い頃はそれほどでもなかったが、今では大好物になった。筍料理のポイントが新鮮なうちにゆでることだが、これが面倒だと思ってしまう。料理はひと手間が大事ですと「レンジでチン」時代の食生活をなげいていた料理研究家を思い出す。

●乙訓地方の孟宗竹は一二〇〇年程前に中国からもたらされたと言います。地震学者の尾池和夫氏は、この地域には活断層があり、地震への備えとして竹林が広がっていたと指摘している。

●大原野の筍が最高品質と言われるのは、土入れなど年間を通じて手間ひまかけて育てられているからである。竹林と言ふよりまさに竹の畑。「京都式軟化栽培法」とよばれている。

●今年も知り合いの筒農家にお願ひして友人たちに筒を送った。昨年より一人減ったのが淋しいが、手間ひまかけた大原野ブランドの味を待っている老人ばかりである。

●もの忘れが進んでいるのか、二日連続でお礼の電話をかけてきた友人がいた。見事な字で「すばらしい松茸を」と書かれた札状もきた。筍が終り、竹の秋の季節となった。(南春日町 中澤隆司)

社会福祉協議会への賛助金

「ご協力ありがとうございました。」



令和5年度 自治会長・各種団体長名簿

Table with 4 main sections: 民生・児童委員 (Municipal Child Welfare), 各種団体長 (Various Organizations), 自治会長 (Municipal Chairman), and 老人福祉員 (Elder Welfare). Each section contains a list of names, positions, and addresses.

地域活動についてのご意見、ご提案、ご協力の申し出などありましたら、各自治会長や団体長にお申し出下さい。

大原野歴史同好会通信 (34) 石見城跡

第2回発掘調査について

齋藤 利一郎

令和4年12月17日(土) 10時より石見城跡跡地で、京都市文化芸術都市推進室の文化財保護課黒須氏による現地説明会が行われました。...



地説明会の資料からです。

から、人々が行き交う交通の要所に「石見城」が築かれました。

応仁元年(1467年) 応仁・文明の乱が始まると、西岡被官衆は当初は細川勝元が率いる東軍に属して西軍の山名宗全らと戦い、やがて戦いが長引くにつれて、被官衆の中から西軍に味方する者が現れたため、西岡一帯は激しい戦火に包まれました。...

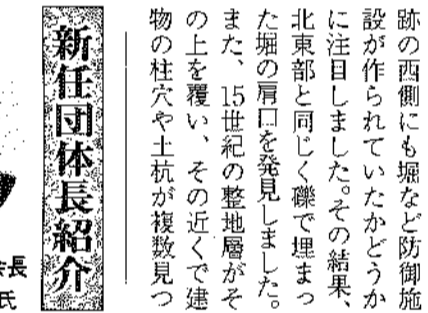
石見城は室町時代(14世紀後半から16世紀)にはこの地域は広く「西岡」と呼ばれる小領主が36人もおり、西岡地域を連帯して治めていました。...

石見城領主小野氏は居城を変えながらその後も存続しましたが、石見城の情報は途絶えてしまい、その実態は謎に包まれたままです。...

就任のご挨拶

交通安全活動について

大原野交通安全推進会長 今村 喜代市



新任団体長紹介

交通安全推進委員会 今村 喜代市

新緑が目に見える季節と なってまいりました。地域 の皆様方におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。...

交通安全活動について 交通安全活動は、高齢者の運転操作ミス等による自動車事故や自転車に関する交通事故が発生して いる現状です。...

「里に学び 里を愛し 里を創る」 次代と自らの未来を創造する子 の育成をめざして

上里小学校 校長 溝内秀基

西山の自然豊かなこの地で、地域の皆様に支えられ、子どもたちが伸び伸びと成長できる環境に喜びを感じております。平素は、本校教育の推進にご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

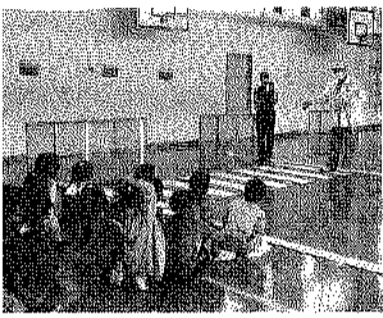
3年前のゴールデンウィークでは、緊急事態宣言下でこの観光地も人の姿がない状況でしたが、今年度は京都にも多くの観光客が訪れ、その賑わいが戻ってきました。新型コロナウイルス対策の緩和が進み、4月1日から学校でもマスク着用の推奨がなくなり、各家庭の判断となりました。5月8日には、季節性インフルエンザなどの5類への移行となり、ようやく日常の生活に戻ろうとしています。この間、子どもたちのよりよい環境

づくりのために、地域の皆様や保護者の皆様から子どもたちへの温かい声かけや見守り、励ましの声など心こもった支援をいただき、とても感謝いたしております。「地域と共に子どもを育て、児童、保護者、地域から愛され、信頼される開かれた学校づくり、上里らしい学校を創る」という創立当初からの理念を引継ぎ、今後も学校教育目標の達成に向けて教職員が一つのチームとなってしっかりと取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。また、学校運営協議会のご尽力のもと、地域の皆様や保護者の皆様にたくさん支えられ、様々な行事を予定しております。例えば、春のたけのこ掘り、交通安全

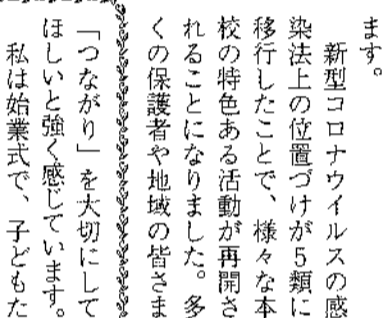
創立150周年を迎えて

大原野小学校 校長 城ヶ崎浩也

今年度、市川幸司校長の後任として教頭より昇任いたしました。城ヶ崎浩也と申します。この歴史と伝統ある大原野小学校がさらに発展するよう、精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。学校では、4月1日よりマスク着用の必要のない生活が始まりました。コロナ禍で我慢してきたこと、控えてきたことが通常に行える兆しが見えてきました。



全教室、放課後まなび教室、泰山子づくり、昔遊びなど。教科書だけでは学べない「地域に学び、生きた学び」を通して、人を思いやり、自然と豊かにかかわる取り組みを進めてまいります。地域で育った子どもたちが、地域に誇りと愛着を持ち、将来を担っていく力の育成に取り組んでまいります。今後とも、安心安全の取り組みに力を入れ、地域の皆様とのつながりを大切に、上里教育の発展に全力で取り組んでまいります。これまで同様、皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



はじめまして
大原野中学校 校長 宇野宏文

地域の皆さま方には、子供たちのために本校の教育推進にご支援ご協力賜り、心より御礼申し上げます。今年度は、79名の新入生が大原野中学校に入学いたしました。豊かな自然に恵まれた大原野の地で、子どもたちが健やかに成長できることに喜びと幸せを感じております。私自身も自然に囲まれた学校で勤務できることを心からうれしく思います。

新型コロナウイルスの感染拡大上の位置づけがら類に移行したことで、様々な本校の特色ある活動が再開されることになりました。多くの保護者や地域の皆さま「つながり」を大切にしたいと強く感じています。私は始業式で、子どもたちに「つながり」ことの大切さについて話しました。友だちや周りの大人と励まし合ったり、助け合ったりして「つながり」ことで、人は強くなり、一人ではできない難しいことも乗り越えることができるのだと伝えました。また、つながりことで新しい発見や出会い

しかし、決して、油断することなく、感染防止に努めた上で、教育活動を進めてまいります。今年5月5日に創立150周年を迎えました。150周年の記念事業に向けて、昨年度は、おやじの会の方を中心となり、PTA、少年輔導と協力し、「創立150周年記念謎解きイベント」を行いました。子どもたちは、楽しんで問題を解きながら大原野小学校の

また、創立150周年記念事業実行委員会が立ち上がり、記念式典の準備や記念誌の作成も始まっています。学校のフェンスに掲げられた横断幕も地域の皆様の目に触れていることと思います。地域の皆様にも寄付金などで150周年記念事業にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このように、大原野小学校は多くの地域の方に支えられ、愛されています。そして、子どもたちにもこの地域を愛し、この学校の伝統を受け継いでほしいと願っています。この地域との



になることがありましたら、遠慮なくご相談いただければ幸いです。令和5年度「学校教育の重点」に、学校教育において重視する視点として、「子どもの『主体性』と『社会性』の育成を目指し、『自ら学ぶ力』と『自ら律する力』を学校・幼稚園全体の教育活動の中で高める」と書かれています。日々の教育活動の中で、カリキュラムマネジメントの視点をもって教育課程を工夫し、教職員はもとより、保護者や地域との連携・協働を深めながら、本校の現状を踏まえた効果的な教育活動を展開していきたいと思っております。そのためには、学校としての説明責任を十分に果たすべく、授業参観や広報活動、学校評価等を通じて、本校の教育活動に対して積極的な情報提供し、相互の信頼関係を築いていきながら取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。



《アルミ缶プルトップ回収》
月～金 A.M.9:30～P.M.3:30
大原野総合自治会館
プルトップをあつめて車椅子をもらいましょう！ご協力お願いします。
— 車椅子を貸出しています —

《天ぶら油回収》
月～金 A.M.9:30～P.M.3:30
大原野総合自治会館
— 持参した容器は必ず持って帰って下さい —

上里竹の子こども園

今年も みんなが待ちに待った筍掘り 友達と共同作業で頑張っ 筍ご飯が楽しみだ!!

大原野こども園

年長になって、張り切って何でもチャレンジしています。今日はおやつで、おにぎり作りをしました。好きな量を入れてもらい、両手でぎゅうぎゅうと握っています。自分で握ったおにぎりは最高の味のようなでした。

大原野幼稚園

年長児が皆の顔を乗せたこいのぼりを制作しました。外で元気に遊ぶ子ども達を園庭で泳ぎながら見守っています。

のびゆく園児たち

体振だより

大原野地域の主な行事予定 (令和5年7月~12月)

H O P P !
S T E P P !
J U M P !
!!!

ホ
ッ
プ
!
ス
テ
ッ
プ
!!
ジ
ャ
ン
プ
!!!

夏の太陽がまぶしい季節となりました。大原野地域の皆様には、体育振興会の活動に対し、ご支援ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度は、何とか工夫し事業を行いたい思いで、地域役員の皆様と会議を行い協議を重ねてまいりましたが、グラウンドゴルフ大会・ベタンク大会以外の大会は開催することが出来ませんでした。

4月より新年度が始まり、少しづつではありますが、日常を取り戻しつつある中、体育振興会の事業を行ってまいりたいと存じます。つきましては、大会の再開に当り、3年間のブランクは非常に大きな課題であり、地域の皆様のご理解とご協力が必要です。

体育振興会として、3年間で失われた地域間の交流・つながりを、スポーツ活動を通じて取り戻し、地域の活性化に貢献できるよう頑張っております。

今後とも、地域の皆様の温かいご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

大原野体育振興会長 上田清和



グラウンドゴルフ大会
優勝 宇ノ山町チーム



京都マラソン
ボランティア参加

令和5年度 体育振興会事業 (大原野地域事業)

6月11日(日)	A.M.9:00	ソフトバレーボール大会	大原野小学校体育館
6月18日(日)	A.M.9:00	バレーボール大会	大原野小学校体育館
10月1日(日)	A.M.8:45	第64回大原野区民体育祭	大原野中学校グラウンド
10月22日(日)	A.M.9:00	ソフトボール大会	大原野グラウンド(予定)
11月26日(日)	A.M.9:00	グラウンドゴルフ大会・ベタンク大会	大原野中学校グラウンド
〈令和6年〉			
2月11日(日)	A.M.9:00	卓球大会	大原野小学校体育館
3月17日(日)	A.M.8:45	里山ウォーキング (主管事業)	集合:大原野小学校グラウンド

その他、京都市大会及び西京区大会に大原野代表チームとして参加致します。

各事業・学校体育施設利用 (学校体育施設利用基準による) に関する問い合わせ・ご質問は上田 (☎331-0385) まで連絡して下さい。

7月~8月 毎週 金・土曜日に少年補導委員会・防犯推進委員協議会による、管内全域の安全パトロール

7月7日(金)	社協ふれあい事業“なぬか会”	大原野総合自治会館
9月1日(金)	社協ふとんクリーニング	右京の里地域
9月7日(木)	社協ふれあい事業“なぬか会”	上里小学校
10月1日(日)	共同募金運動 (12月31日まで)	
10月1日(日)	第64回大原野区民体育祭	大原野中学校グラウンド
10月4日(水)	社協ふれあい事業“なぬか会”	〈未定〉
10月15日(日)	コミプラすもう大会	大原野中学校
11月7日(火)	社協ふれあい事業“なぬか会”	大原野小学校
11月12日(日)	フェスタ大原野	大原野中学校
12月2日(土)	社協わら細工教室 (しめ縄づくり)	上里小学校
12月20日(水)	消防分団による歳末特別警戒パトロール (12月31日まで)	管内全域

定例会議/事業

自治会長会議	毎月第3土曜日
使用済み食用油回収事業	毎月第3土曜日
大原野小学校 古紙回収 (PTA)	毎月第2土曜日
上里小学校 古紙回収 (PTA)	毎月第3木曜日
大原野中学校 古紙回収 (PTA)	毎月第4金曜日

◇子育て支援事業(対象者:これからママになる方、0~3才の乳幼児とその親)

・ママ・ちゃいるど大原野 会場は大原野中学校他4か所を順番に (10:00~11:30)毎月第2木曜日

〈社会福祉協議会〉関係

◇健康すこやか学級 (対象者:65歳以上の方)

・やさしい筋トレ・たのしい筋トレ	大原野中央老人クラブハウス	毎月第1木曜日
・	右京の里会館	毎月第2木曜日
・	春日町自治会館	毎月第3木曜日
・	上里小学校コミュニティホール	毎月第4木曜日
・おしゃべり会 (年齢制限無し)	右京の里会館	毎月第3火曜日(8月は休み)
・まろやかクラブ (囲碁)(将棋)	中央老人クラブハウス	毎週水曜日の午前中

夜間パトロールによる 犯罪防止を

大原野防犯推進委員協議会
支部長 齋藤昭男

平素は防犯推進協議会の事業活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。私が支部長に就任いたしました。早くも5年が経過いたしました。この間皆様方からいただきましたご厚情に對しまして心より感謝いたします。

少ない方ですが、以前から時々発生するのが、自転車の盗難、荷泥棒、農機具の盗難、空き巣等です。

このような状況の中で私達が重点的に行っているのが夏季夜間パトロールです。青色の光を照らしながら巡回することによって、不審者を大原野地域から遠ざけることを目的としています。

夜間パトロールの当番は大原野の15町の防犯推進委員を5つのグループに分け、1グループが9

頑張ります!

「マルシェ大原野」

8年目を迎える。

大原野農産物等直売所 運営協議会 副会長 小田富久

大原野農産物等直売所(マルシェ大原野)は今年7月で8年目を迎えます。「継続は力なり」と申しますが、ひとえに地域の皆様方の深いご理解とご協力、並びに京都市をはじめ、J.A京都中央大原野支店等各種団体の惜しみないご協力をいただいた結果であります。誠にありがとうございます。

この8年間で、多くのリピーターが出来、新鮮・良質で安心・安全な野菜を供給し、大原野産の野菜の知名度は上がっております。また、令和元年からは阪急洛西口駅「トート阪急」での販売が可能となり、販路の拡大と、大原野産野菜のイメージアップに繋がっております。令和2年度には京都市農産物等の販路拡大事業として補助金を利用して「レジシステム」を採用し、生産者・消費者の利便性の向上を図っております。今後も地域活性化に向け地元根差した活動を実施したいと考えております。

一方で、開設当初、農産物出荷登録者及びスタッフの主力が60歳代でありましたが、8年間でその多くが70歳代になってまいりました。新規の農産物出荷登録者も年間数

10人ほどになるように編成します。実施時期は7月中旬から8月末にかけて毎週金曜日全員がそろいの防犯ベストと帽子を着用して大原野全域を東コースと西コースに分け、約1時間2チームで、青パト車が先導して自家用車1~2台で巡回します。大原野交番のパトカーは最後尾で巡回していただきます。住宅地の細かい路地を巡回しながら、異常がないか、不審者はいないか、神社の境内は徒歩で確認し、公園の周辺はゆっくり走りながら心がけております。パトロールは「見る」だけでなくは「見せる」ことも大事です。住民の方々の防犯意識を高める効果も

編集余談

我が家の庭から「祝創立150周年大原野小学校」と書かれた横断幕が見える。今年は大原野小学校の創立150周年にあたる年だそう。

私が在籍していた60年前と今では、学校の風景は全く違ったものになっている。あの頃と同じものはクスノキの大木しか残っていない。京都市に編入された後に、給食が始まった。学校に食器がなかったため、アルミの食器は毎日家に持ち帰り、洗わねばならなかった。

昔は幼稚園にも通園していないので、平仮名で名前だけを書ける程度で入学したと思う。そんな私たちが先生方は教えて下さったと思うとありがたいと感じる。(卓)



“ご協力ありがとうございました”
日赤社資
(令和5年度)
合計 415,800円
(6月6日現在)